

令和4年度 第1回 大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議 議事要旨

1 日 時 令和4年6月29日(水) 午前10時～正午

2 場 所 大阪市水道局本局 共通会議室5

3 出席者

[会議メンバー] (敬称略・順不同)

佐野 修久	大阪公立大学大学院	教授
畑山 満則	京都大学防災研究所	教授
大西 正光	京都大学防災研究所	准教授
金本 夏美	金本夏美公認会計士事務所	公認会計士
植村 淳子	関西法律特許事務所	弁護士

[大阪市水道局]

大塚 久征	官民連携担当部長
木内 陽一	PFI 事業調整担当課長
高林 雅美	官民連携担当課長
吉澤 源太郎	PFI 事業調整担当課長代理
山本 良二	PFI 事業調整担当課長代理
橋爪 拓人	計画課整備計画担当課長代理
仲埜 豊和	柴島浄水場副場長 (リモート参加)

ほか6名

4 座長の選出・座長代理の指名

- 座長：佐野氏
- 座長代理：畑山氏

5 議題

- (1) 【報告】大阪市工業用水道特定運営事業等の概要について
- (2) 【報告】市のモニタリング体制について
- (3) 【報告】運営権者の事業計画について
- (4) 【審議】令和4年度モニタリング方針(案)について

6 主な意見等

- モニタリング方針について、事業の意義・目的に関わる内容と、個別の施策が混在しているものが見受けられるので、記載内容の整理が必要。
- 発生した事象の是正レベルが「命令」に該当した場合は、直ちに有識者に一報が欲しい。
- 財務モニタリングについて、SPC の会社としての監査方法や結果が、数字の妥当性をどのように確保しているのか、気を付けて見ていく必要がある。
- 実地モニタリングについて、具体的な方法を事前に検討しておくことと、必要に応じて柔軟にやり方を変えていくことが必要。
- SPC が計画している「浄配水場の管理運営のための維持管理データベースの構築」において、市のモニタリングでも活用できるような機能を持ったデータベースを構築できれば、市のモニタリングの効率化が図られるのではないかと。
- 人工衛星を用いた漏水調査について、技術の精度やトータルでの費用対効果も勘案しながら、KPI を設定することについても考えてほしい。

7 配付資料

- 議事次第
- 【資料1】「大阪市工業用水道特定運営事業等」の概要について
- 【資料2】市のモニタリング体制について
- 【資料3】運営権者の事業計画について
- 【資料4-1】「モニタリング方針」の策定目的と記載構成
- 【資料4-2】令和4年度モニタリング方針（案）
- （参考資料1）大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議メンバー名簿
- （参考資料2）大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議開催要綱
- （参考資料3）大阪市工業用水道施設運営事業有識者会議傍聴要領